

この戦いの中でも、愛がすべてだった……

炎のランナーのアカデミー賞監督ロニーハドソンが壮大なスケールで描く愛と再会のドラマ

めぐり逢い

- ◆アル・パチーノ
AL PACINO
- ◆ナスターシャ・キンスキー
NASTASSJA KINSKI
- ◆ドナルド・サザーランド
DONALD SUTHERLAND
- ◆アニー・レノックス
ANNE LEONOV
- ◆シド・オウエン
SID OREN
- ◆デクスター・フレッチャー
DEXTER FLETCHER
- 製作:アーウィン・ウィンクラー
Produced by IRVIN WINKLER
- 監督:ヒュー・ハドソン
Directed by HUGH HADSON
- 脚本:ロバート・デロン
Screenplay by ROBERT DELOAN
- 撮影:バーナード・ルチック
Cinematography by BERNARD LUTIC
- 提供:東宝北新社
- 配給:東映クラシックフィルム部

REVOLUTION



レボリューション

めぐり逢い

REVOLUTION

製作/アーウィン・ウインクラー◆監督/ヒュー・ハドソン◆脚本/ロバート・ディロン

製作『ロッキー』のアーウィン・ウインクラー、そして監督『炎のランナー』のヒュー・ハドソン——世界を凌駕するアカデミー賞スタッフ、ついに結集！

『レボリューション／めぐり逢い』は、アメリカ独立戦争という18世紀最大の叙事詩の中で、父と子、そして男女の愛の姿を空前のスケールで描く、愛と再会のドラマだ。

監督は、デビュー作『炎のランナー』で4つのオスカーを制覇するという快挙を成し遂げたヒュー・ハドソン。時代の大きな流れに呑み込まれながらも必死に生きる人々のそれぞれのひたむきな愛の姿を、彼はいささかの妥協も許さず、精密なモザイクを敷きつめるように謳い上げていく。

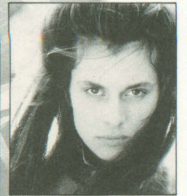
そして、のべ2万人が出演、1776年のアメリカを再現するため3600万ドルとい

1776年7月4日、アメリカ独立宣言。それは戦いの終りの日ではなく、戦いの火ぶたが切られた日だった。そして、父と子の、男と女の愛への旅立ちの日でもあった。

戦いが、人と人を引き裂くこともあるが、その絆をいつそう深めることもある。

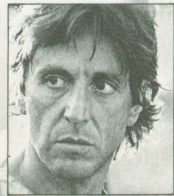
トムとその息子ネッド、そして愛するデージー。アメリカ独立戦争の嵐の中に巻き込まれるそれぞれの愛。そして敵対するピーシーにも、静かに愛する息子がいた。

壮大なアメリカ原野で巻き起こる戦いの中で、監督ヒュー・ハドソンは普通の人々の姿をつぶさに描いていく。そこには、ジョージ・ワシントンも、トマス・ジェファソンも登場しない。あるのは、土にしっかりと根ざして生きる人々の姿だ。そんな人々の滲み出る



主演『ゴッドファーザー』のアル・パチーノ、そして『ハリ、テキサス』のナスターシャ・キンスキー——二大豪華スターの華麗なる競演！

う莫大な製作費がかけられた、ゴールドクリスト社の超大作を手掛けたのは、製作のアーウィン・ウインクラーである。「ロッキー」「レイジング・ブル」「ライト・スタッフ」といった質の高さとスケールの大きさ、そして審美眼の鋭さから生まれた31本の作品の中から、計37個のオスカー・ノミネーションを生み出し、今もオスカー・タービーを駆け抜ける、映画界きっての大物プロデューサーだ。



ような思いを、カメラは鮮烈に浮び上らせていく。

例えばトムが、イギリス軍に連れ去られた息子ネッドを救出し、インディアン部落で介抱するシーンは圧巻だ。10数分という長丁場を、ワンショットでとらえる驚くべきカメラワークの素晴らしさ。そして、その張りつめたシーンでパチーノは父親の本能をさらけ出し、迫真の演技をみせる。彼は今まで、どちらかと言えば冷徹なイメージの役が多かったが、そんな中で、堰がきたように吐き出されたその人間臭さに、驚く人も多いのではな

息子と、そして愛しい女への激しい愛を寡黙に演じるのは、あの『ゴッド・ファーザー』で鮮烈なデビューを遂げ、今や押しも押されぬ俳優となったアル・パチーノ。戦いに巻き込まれていく中で、次第に「自由」への意識に目覚めていくトム・ドップを果敢に演じる。そしてそんなトムを「自由への扉」へ導くのがナスターシャ・キンスキー演じるデージー・マコナヘイだ。「ホテルニューハンプシャー」『ハリ、テキサス』でのガラスのように脆くて繊細な演技で観る者を魅了した彼女が、今度こそ情熱に溢れる女性を熱演する。またトムと敵対するイギリス軍曹、ビル・ピーシーを演じるのはドナルド・サザーランド。「M*A*S*H」『驚は舞いおりた』「1900年」でみせた圧倒的な存在感は、この映画でも健在だ。

いだろうか。いずれにしても、そんな父から、人を愛することの優しさと激しさを、そして厳しさを知った、あの少年ネッドに、フロンティアへの道は広いはずである。

■スタッフ・キャスト■
製作……アーウィン・ウインクラー
監督……ヒュー・ハドソン
脚本……ロバート・ディロン
トム……アル・パチーノ
デージー……ナスターシャ・キンスキー
ピーシー……ドナルド・サザーランド
自由の女神……アンディ・レノックス
ネッド少年時代……シド・オウエン
ネッド……デクスター・フレッチャー

近日ロードショー

特別鑑賞券発売中 ¥1,200 (当一般1500円、高校生1300円)

東急文化会館6F(東急名画座改め) 新宿歌舞伎町ミラノ座となり 銀座プランタンとなり

渋谷東急2 (407)7229 シネマミラノ (200)0888 丸の内裏パラス (535)4740